



2022年5月12日

各位

会社名 コムシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 加賀谷 卓
(コード：1721 東証プライム市場)
問合せ先 取締役財務部長 尾崎 秀彦
(TEL. 03-3448-7000)

簡易株式交換による株式会社ワールドエコの完全子会社化に関するお知らせ

コムシスホールディングス株式会社（以下「CHD」といいます。）は、本日開催の取締役会において、CHDを株式交換完全親会社、株式会社ワールドエコ（以下「ワールドエコ」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下「本株式交換」といいます。）を実施することを決議し、本日、CHDとワールドエコとの間で株式交換契約を締結しましたのでお知らせいたします。

記

1. 本株式交換の目的

コムシスグループを取り巻く事業環境につきましては、5Gサービスの本格展開、社会全体のデジタル化に伴うICT投資、防災・減災、国土強靱化など公共インフラ投資、グリーン社会の実現に向けた再生可能エネルギー分野への投資拡大などが期待されております。

こうした市場構造の変化に迅速に対応しつつ、次代に向けて更なる成長・発展を期するためには、技術革新に対応するための高品質な施工技術力の維持・向上のみならず、より生産性の高い施工体制の再構築による市場競争力の強化と経営基盤の拡充が急務となっております。

このような状況認識のもと、当グループ会社である株式会社TOSYS（以下、「TOSYS」といいます。）とワールドエコの強みを活かした広範囲な事業展開と経営資源の連携によるシナジーを見込んで、本株式交換を実施するに至りました。

TOSYSグループは、主に信越エリアにおいてNTTグループをはじめとする通信事業者の通信インフラネットワーク構築を担っている他、官公庁及び一般企業からの通信設備・電気・土木等の工事請負、ICT関連事業等の拡大に注力しております。一方、ワールドエコは、長野県を拠点とし、セメント骨材卸及び、ミネラルウォーター製造・販売を中心に事業を営んでおります。また、ワールドエコ及びその子会社で構成されるSUNグループは、長野県北信地域における土木・建築等の工事請負の他、周辺領

域として除雪、生コンクリート製造、産業廃棄物収集運搬等の業務を手掛けており、幅広く事業を展開しております。

TOSYSとワールドエコは、本株式交換により、信越を中心とする対象地域、事業分野等について両社の強みを活かした広範囲な事業展開と経営資源の連携によるシナジーの最大化を追求し、グループとしての成長戦略を強力に推進することによって企業価値の一層の向上を図ってまいります。

2. 本株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

本株式交換契約締結に係る取締役会決議日	2022年5月12日(木)
本株式交換契約締結日	2022年5月12日(木)
株主総会開催日(ワールドエコ)	2022年6月10日(金)(予定)
本株式交換の効力発生日	2022年7月1日(金)(予定)

(注) 本株式交換は、CHDにおいては、会社法第796条第2項の規定に基づき、簡易株式交換の
 手続により、株主総会の決議による承認を受けずに行われる予定です。

(2) 本株式交換の方式

CHDを完全親会社、ワールドエコを完全子会社とする株式交換を行います。なお、本株式交換は、CHDにおいては、会社法第796条第2項の規定に基づき、簡易株式交換の手続により、株主総会の承認を受けずに、ワールドエコにおいては2022年6月10日に開催予定の株主総会において承認を受けた上で、2022年7月1日を効力発生日として行われる予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	CHD (株式交換完全親会社)	ワールドエコ (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当比率	1	17,868.26

(注) 株式の割当比率及び交付する株式数等

ワールドエコの普通株式1株に対して、CHDの普通株式17,868.26株を割当てます。

なお、本株式交換に際して、CHDから交付するCHDの普通株式は、計1,072,095株となる予定です。また、交付するCHDの普通株式は、全てCHDが保有する自己株式をもって割当てるものとします。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

ワールドエコは新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

上記2. (3)「本株式交換に係る割当ての内容」に記載の本株式交換に用いられる株式交換比率の算定にあたって公平性・妥当性を確保するため、CHDはG-FAS株式会社（以下、「G-FAS」といいます。）を、CHD及びワールドエコのいずれからも独立した第三者機関として選定のうえ、本株式交換における株式交換比率の算定を依頼し、G-FASによる算定結果を参考として、両社間で株式交換比率について慎重に交渉・協議を重ねた結果、最終的に上記株式交換比率は、G-FASが算定した株式交換比率のレンジ内であり、両社の株主にとって不利益なものではなく妥当であるとの判断に至り、両社の取締役会において本株式交換における株式交換比率を決定し、合意いたしました。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに上場会社と対象会社との関係

G-FASは、CHDとワールドエコいずれの関連当事者（連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則第15条の4、財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第17項に定める関連当事者）にも該当しません。

②算定の概要

CHDの株式価値については、CHDの普通株式が東京証券取引所プライム市場に上場しており、市場株価が存在することから、市場株価平均方式による算定を行いました。具体的には、2022年5月11日を算定基準日とし、算定基準日から遡る1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の取引日における終値平均値を採用いたしました。この算定されたCHDの普通株式の1株当たりの価額の評価レンジは以下のとおりであります。

算定方式	株式交換比率算定の基礎となる1株当たりの価値レンジ
市場株価平均方式	2,663円～2,700円

これに対して、ワールドエコの株式価値については、非上場会社であることから、算定においては、将来の事業活動の成果を評価に反映させるためDCF方式を、また、比較可能な上場類似企業が複数存在することから類似会社比較方式をそれぞれ採用いたしました。

なお、DCF方式による算定の基礎となる将来の利益計画においては、対前事業年度比較において大幅な増減益を見込んでいる事業年度は含まれておりません。

算定されたワールドエコの普通株式の1株当たりの価額の評価レンジは以下のとおりであります。

	算定方式	株式交換比率算定の基礎となる1株当たりの価値レンジ
①	DCF方式	40,853,335円～55,567,441円
②	類似会社比較方式	42,572,085円～50,159,997円

上記方式にて算定されたワールドエコの普通株式1株当たりの株式価値を1とした場合の株式交換比率の算定結果は15,130.86～20,866.48になります。

G-FASは、株式交換比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報、一般に公開された情報等を使用し、それらの情報等が全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正

確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社及びその関係会社の資産又は負債（簿外資産及び負債、その他偶発債務を含みます。）について、個別の資産及び負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関への鑑定又は査定の依頼も行っておりません。G-FASによる株式交換比率の算定は、算定基準日までの情報及び経済条件を反映したものであり、ワールドエコの財務予測（利益計画その他の情報を含みます。）については、ワールドエコの経営陣により現時点で得られる最善の予測及び判断に基づき合理的に検討されたことを前提としております。また、G-FASによる株式交換比率の算定結果は、本株式交換における株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

(3) 上場廃止となる見込み及びその理由

CHDは、本株式交換において株式交換完全親会社となり、また株式交換完全子会社となるワールドエコは非上場会社のため、該当事項はありません。

(4) 公正性を担保するための措置

本株式交換に用いられる株式交換比率の算定にあたっては、G-FASに専門家としての意見を求めることとし、ワールドエコの株式価値の算定を依頼いたしました。CHDは係る算定結果を参考として、検討・交渉・協議を行い、その結果合意された株式交換比率により本株式交換を行うことといたしました。

(5) 利益相反を回避するための措置

CHDとワールドエコとの間に役員の兼任もないことから特段の措置は講じておりません。

4. 株式交換当事会社の概要（前事業年度末時点）

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社
(1) 名称	コムシスホールディングス株式会社	株式会社ワールドエコ
(2) 所在地	東京都品川区東五反田二丁目17番1号	長野県下水内郡栄村大字豊栄 1820 番地
(3) 代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 加賀谷 卓	代表取締役 福原 初
(4) 事業内容	情報通信工事業、電気通信設備工事業及び情報処理関連事業等	セメント骨材卸、ミネラルウォーター製造・販売、運送業・車両重機賃貸
(5) 資本金	10,000百万円	3百万円
(6) 設立年月日	2003年9月29日	2002年7月2日
(7) 発行済株式数	普通株式 141,000,000株	普通株式 60株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 従業員数 (注1)	17,066人(連結)	45人
(10) 主要取引先	東日本電信電話(株) 西日本電信電話(株) 株NTTドコモ その他	飯栄建設(協) 一山土木工業(株) 三谷商事(株) その他
(11) 主要取引銀行	(株)三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行(株) (株)みずほ銀行 (株)三井住友銀行	(株)八十二銀行
(12) 大株主及び 持ち株比率 (議決比率) (注2)	日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 26.45%	福原 初 96.7%
	(株)日本カステイ銀行(信託口) 11.14%	その他個人株主1名(注3)
	日本生命保険相互会社 2.61%	
	(株)日本カステイ銀行(証券投資信託口) 2.51%	
	コムシスホールディングス従業員持株会 1.69%	
(13) 当事会社間の関係		
資本関係	特筆すべき事項はございません。	
人的関係	特筆すべき事項はございません。	
取引関係	特筆すべき事項はございません。	
関連当事者への 該当状況	特筆すべき事項はございません。	

(注1) 株式交換完全親会社の従業員数は2021年3月31日現在の従業員数を記載しております。

(注2) 株式交換完全親会社の大株主及び持ち株比率は、2021年9月30日現在の状況を記載しております。

(注3) 個人株主の名前の公表は、代表取締役以外は差し控させていただきます。

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態

(単位：百万円)

決算期	CHD (連結)			ワールドエコ		
	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期
純資産	310,694	330,807	343,489	430	460	538
総資産	450,043	479,419	524,062	757	789	1,046
1株当たり純資産(円)	2,424.83	2,619.63	2,761.15	7,179,756.37	7,675,989.68	8,978,429.65
売上高	560,882	563,252	589,028	631	688	766
営業利益 又は営業損失(△)	38,953	41,572	42,963	28	7	30
経常利益 又は経常損失(△)	40,064	42,941	44,036	34	29	84
親会社株主に帰属する当期純 利益又は当期純損失(△)	25,994	29,369	29,208	35	29	84
1株当たり当期純利益(円) 又は当期純損失(△)	202.97	232.72	235.50	593,162.33	496,233.32	1,402,439.97
1株当たり配当金(円) ※決算日時点の発行済 株式総数で割り算	75.00	85.00	95.00	-	-	100,000.00

(注1) ワールドエコは2022年3月期より5月決算から3月決算に決算期変更を行っております。

そのため、2022年3月期は2021年6月から2022年3月までの10ヶ月間となりますが、2022年3月期は決算作業中であり未確定のため、2021年5月期の状況を記載しております。

CHDは本株式交換により、ワールドエコ及びその子会社6社から構成される企業群を取得することから同企業群に関する財務情報について記載しております。

決算期	ワールドエコ (単体+子会社)		
	2019年 5月期	2020年 5月期	2021年 5月期
純資産	3,372	3,579	4,027
総資産	6,357	5,997	6,883
1株当たり純資産(円)	56,215,460.88	59,665,411.88	67,129,237.75
売上高	5,289	6,672	7,029
営業利益 又は営業損失(△)	293	412	651
経常利益 又は経常損失(△)	326	469	749
当期純利益 又は当期純損失(△)	152	237	494
1株当たり当期純利益 (円)	2,547,598.32	3,956,151.00	8,235,825.87

(注1) ワールドエコは連結決算を行っていないため、同企業群(同社とその子会社6社)の単純合算数値を記載しております。

(注2) 1株当たりの純資産及び当期純利益は、単純合算した純資産及び当期純利益をワールドエコの発行済株式数である60株でそれぞれ除した数値を記載しております。

5. 株式交換後の完全親会社の状況

		株式交換完全親会社
(1)	名 称	コムシスホールディングス株式会社
(2)	所 在 地	東京都品川区東五反田二丁目17番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 加賀谷 卓
(4)	事 業 内 容	情報通信工事業、電気設備工事業及び情報処理関連事業等
(5)	資 本 金	10,000百万円
(6)	決 算 期	3月31日
(7)	純 資 産	現時点では確定していません。
(8)	総 資 産	現時点では確定していません。

6. 会計処理の概要

本株式交換に伴う会計処理は、「企業結合に関する会計基準」における「取得」に該当いたします。なお、本株式交換により発生するのれん（又は負ののれん）の金額は、現時点で未確定です。

7. 今後の見通し

本株式交換がCHDの連結業績に与える影響等は軽微と見込んでおります。本株式交換後、ワールドエコ及びその子会社6社が当社の連結子会社となる時期につきましては検討しており、今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想(2022年5月12日公表分)及び前期連結実績 (単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2023年3月期)	590,000	40,000	40,500	27,000
前期連結実績 (2022年3月期)	589,028	42,963	44,036	29,208

以上